

旧補修材(プライマー+無収縮モルタル+ポリマーセメントモルタル)
の損傷部を除去し、Eagle8での再補修(経過観察中です。)

状況

2020年9月に、冬場は-10℃を下回る寒冷地空港の誘導路のクラック補修を行いました。
クラックにEagle8を流し込み施工完了です。強固な付着力と不透水性を兼ね備えております。水で練って、
流し込むだけの容易な工法です。寒冷地で来春まで経過を観察いたします。

施工前



左 旧補修材とクラック、右 旧補修材に緊急補修材(黒部)が被覆されています。



様々な形状で傷んでおります。灰色部は上記2枚の写真と同様に同様旧補修材。

施工中

旧損傷材の除去



清掃



Eagle8の施工で重要なのは下地の調整・清掃です。施工は水と練合わせ充填するだけです。

施工後



Eagle8は、プライマーが不要です。また、耐塩性にも優れております。

同時に、高い強度と強固な付着力と不透水性を発揮いたします。

今後も、経過観察やメンテナンスに合わせ、寒冷地にある空港の補修・補強などのご支援ができればと考えております。